

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	観光統計整備事業		担当部局庁	観光庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H14～		担当課室	参事官(観光経済担当)		参事官 内田 浩行	
会計区分	一般会計		施策名	20 観光立国を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	観光立国推進基本法第25条		関係する計画、通知等	観光立国推進基本計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	訪日外客誘致施策の更なる強化、地域が主役となった観光政策の展開が求められる中、行政・民間における観光に関する取組をPDCAサイクルに基づき早急かつ着実に実施するため、観光施策の基本インフラである観光統計の整備を着実に進めることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	観光統計整備事業は、平成14年度の事業開始以降、調査対象の拡充等を行いつつ継続的に実施している。平成23年度は、我が国における日本人・外国人の宿泊旅行の実態を明らかにする「宿泊旅行統計調査」、国民の観光旅行の実態を把握するとともに観光消費の経済波及効果を明らかにする「旅行・観光消費動向調査」、訪日外国人の旅行消費・再訪意向・満足度等を明らかにする「訪日外国人消費動向調査」を継続して実施するとともに、観光産業の基本的構造の実態を把握することを目的とする「観光地域経済調査」の本格実施に向けた予備的調査を行った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	21	330	475	887	390
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	21	330	475	887	390	
	執行額	42	323	441	-	-	
執行率(%)	200%	98%	93%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	観光統計整備事業は観光について施策の策定や分析等に活用する基礎資料として整備することを目的としているため、定量的な成果目標を示すことはできない。	成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	観光統計整備事業は観光について施策の策定や分析等に活用する基礎資料として整備することを目的としているため、定量的な活動指標を示すことはできない。	活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠	観光統計整備事業は観光について施策の策定や分析等に活用する基礎資料として整備することを目的としているため、定量的な活動指標を示すものではなく、単位あたりコストを示すことにはなじまない。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	568	1,355				
	職員旅費	343	2,975				
	委員等旅費	0	2,355				
	観光振興調査費	885,704	383,000				
	計	886,615	389,685				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	観光についての施策の策定や分析等の基礎資料として活用されることを目的に行っており、国が実施すべき優先度の高い事業といえる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	既に一般競争による統計調査の発注を行っているところであるが、今後調査の内容を踏まえつつ、一般競争入札の拡大を検討中である。観光統計整備事業の事業内容は統計調査の公表であるため、受益者(利用者)との負担関係は生じない。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	統計調査としての精度を保ちつつ調査対象・調査項目の拡充を行い、また利活用の促進のため公表の早期化を行っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	一部統計については、既に一般競争による発注を行っているところであるが、一般競争入札の更なる拡大を点検した結果、平成24年度においては「訪日外国人消費動向調査」を企画競争から総合評価落札方式、「旅行・観光消費動向調査」の実査部分を企画競争から一般競争に変更した。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	既に一部競争入札の導入を行っているが、引き続き、一般競争入札の導入拡大を図るべき。また、利用者ニーズを踏まえ、事業の成果が効果的に利用されるよう引き続き改善を図るべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	既に一部で一般競争入札を導入しており、引き続き、一般競争入札の更なる拡大について検討する。また、利活用の推進については引き続き改善する。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0469	平成23年行政事業レビュー	0444

※平成23年度実績を記入

観光庁
441百万円

調査目標の設定、具体的な実施方針の策定



【企画競争・一般競争・請負単価契約】

A. 民間企業等（5社）
440百万円

調査の実施・分析 等

諸謝金
0百万円

旅費
0百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. (株)三菱総合研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外部委託	観光に関する産業の構造等に係る調査	180			
外部委託	旅行・観光産業の経済効果等に関する調査	84			
外部委託	「宿泊旅行統計調査」の今後の改善に向けた調査手法の検討・見直し	15			
外部委託	観光入込客統計に関する共通基準の運用に関する支援事業	10			
計		289	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	調査請負業務	289	随意契約 (企画競争)	
2	(財)日本交通公社	調査請負業務	99	随意契約 (企画競争)	
3	トランスコスモス(株)	調査請負業務	52	2	71%
4	(株)サンポー	購入費	0	随意契約	
5	(株)アイ・エコロジー	単価契約	0	随意契約	
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					